

企画提案書作成要領

1. 提出書類の種類

様式の指示があるものを除き、任意の様式とし、原則として、日本産業規格 A4 の用紙を縦又は横に使用し、本文の文字を 12 ポイント以上の大ききで作成してください。既存の冊子、刊行物等を添付する場合は、この限りではありません。なお、副本については、提案者が特定できるような名称、ロゴマーク等を除いてください。

(1) 企画提案書 （正本 1 部、副本 3 部、審査用として②を 3 部）

- ① 会社概要
- ② 企画提案
- ③ 業務工程・スケジュール
- ④ 業務実施体制
- ⑤ 管理技術者の経歴書及び資格証の写し、過去 5 年間の同種業務経歴、現在（R7 年度）担当している業務の一覧
- ⑥ 照査技術者の経歴書及び資格証の写し、過去 5 年間の同種業務経歴、現在（R7 年度）担当している業務の一覧
- ⑦ 担当者の経歴書、過去 5 年間の同種業務経歴、現在（R7 年度）担当している業務の一覧

(2) 見積提案書 （①・②ともに正本 1 部、副本 3 部ずつ）

- ① 見積提案書 A 令和 7 年度業務に関する見積額
- ② 見積提案書 B 令和 8 年度以降の維持管理に係る見積額（年額）

(3) 社会的取組を証明する書類 （正本 1 部、副本 3 部）

2. 企画提案ポイント・留意事項

(1) 企画提案書

① 会社概要

・設立年月日、本社所在地、資本金、従業者数、直近 3 箇年の損益計算書及び貸借対照表、組織図、関連会社等、業務内容、事業内容等を記載してください。

・同等の情報が記載されている既存の冊子・刊行物等をもって、これに替えることができます。

② 企画提案

・分かりやすく簡潔に記載してください。簡単な模式図や概念図の記載も認めま

す。

- ・分量は、日本産業規格 A 4 で 10 ページ程度としてください。やむを得ず A 3 の用紙を使用する場合は、A 4 で 2 ページ相当と換算します。

- ・以下の項目については、特記仕様書を参照して、特に留意して提案してください。

- ・冒頭には、実施方針や目的、実施概要などについて記載をしてください。

ア デジタルハザードマップ等の構築に関する提案 (D-1-ア)

(ア) デジタルハザードマップの特徴

- ・現行の印刷版「津島市防災ハザードマップ (R3.3 発行)」に比べ、シンプルで分かりやすい構成となっているかどうかを記載すること。
- ・「住所検索」の結果は、縮尺 2500 分の 1 以上の地図で表示できるのかどうか。加えて、検索した位置にカーソルが移動するようになっているかどうかを記載すること。

(イ) デジタルハザードマップの印刷 (D-1-イ)

- ・印刷版のハザードマップに近いレイアウトでの印刷が可能かどうか記載すること。
- ・小学校区ごと、また任意の範囲での印刷が可能かどうか記載すること。
- ・ハザードに加え、有益な追加情報（啓発記事など）を同時に掲載して印刷することが可能かどうか記載すること。

(ウ) デジタルハザードマップの機能及び操作性 (D-1-ウ)

- ・仕様書に定める機能が実装されているかがわかるように記載すること。
- ・緊急情報の掲載が容易であるか。また、利用者が一目で緊急情報を覚知できるような画面の表示方法に工夫がされているかを記載すること。
- ・動作のレスポンスが早く、利用者がストレスなくハザードを確認することが可能かどうかを記載すること。
- ・操作に不慣れなユーザーでも直感的に操作しやすいものかどうかをわかるように記載すること

(エ) デジタルハザードマップのデザイン性 (D-1-エ)

- ・外国人でも理解できるよう、アイコンやガイドが外国語対応されているか。特に、仕様書に定める 4 言語（日本語、英語、中国語、韓国語）はもとより、より多くの外国語対応が可能である場合は、その旨も記載すること。

(オ) サポート体制 (D-1-オ)

- ・運用開始後の保守支援体制について記載すること。
- ・クラウドサーバーのセキュリティ、不正アクセス発生時等の対応や緊急時における迅速な対応（目安 60 分以内の対応）が期待できるかどうかをわかる

ように記載すること。特に、休日や夜間などにおけるサポート体制について明確に記載すること。

- ・災害時にも的確に稼働するよう設計されているかどうか記載すること。

(カ) 拡張性・独自提案 (D-1-カ)

・仕様書に定めのない事項をはじめとする、デジタルハザードマップを導入する当市にとって有益であると考える独自提案があれば記載すること。

・運用開始後において、国や県が追加及び見直した災害想定を、容易かつ安易に反映できるかどうか記載すること。

・今後の運用方法に応じて、当該システムを拡張できるカスタマイズに関する提案があれば記載すること。

イ 印刷版ハザードマップの更新及び印刷に関する提案

(ア) 印刷版ハザードマップの特徴 (D-2-ア)

・仕様書に定める項目を網羅したハザードマップであるかどうかを記載すること。

- ・ハザードマップに反映する災害想定をすべて記載すること。

・仕様書に定める「住民啓発ページ」等において、災害ごとの被害の特徴や事前の備え、危険度（レベル）やフェーズに応じた避難行動などが、市民にとってわかりやすくなるよう工夫されているかどうかをわかるように記載すること。

(イ) 印刷版ハザードマップのデザイン性 (D-2-イ)

・年代を問わず、誰が見てもわかりやすくなるよう、イラストを交えるなど、工夫の凝らされたデザインになっているかどうかをわかるように記載すること。

- ・ユニバーサルデザインを優先的に採用する場合は記載すること。

(ウ) 啓発方法

・用語の説明や災害ごとの対処方法などハンドブックとして常に身近に保管しておきたいような内容が掲載されているかどうかを記載すること。

(エ) 独自性

- ・仕様書に定める以上に有効な提案があれば記載すること。

・仕様書で定めるページ構成に対して、ページ数の圧縮の提案があれば記載すること。ただし、ページ数を圧縮した場合においても、情報量等を減らすことなく、必要な情報がわかりやすくコンパクトに掲載できるということを前提とした提案であること。

③ 業務工程・スケジュール

- ・仕様書を踏まえ、導入から運用までのスケジュールを記載してください。

- ・作業工程には、市と受託者の業務分担の目安を付記してください。

④ 業務実施体制

- ・業務の遂行に係る組織の概要、担当者の配置等について記載してください。
- ・業務実施体制は、業務実施に当たり原則として変更できません。

⑤ 管理技術者の経歴書及び資格証の写し、過去5年間の同種業務経歴、現在（R7年度）担当している業務の一覧

- ・管理技術者の経歴書及び資格証の写し、過去5年間の同種業務経歴（実績）、現在（R7年度）担当している業務を記載してください。
- ・業務の受注が証明できる資料（契約書の写し等）を添付してください。協力会社として受注した経歴は評価の対象としません。

⑥ 照査技術者の経歴書及び資格証の写し、過去5年間の同種業務経歴、現在（R7年度）担当している業務の一覧

- ・照査技術者の経歴書及び資格証の写し、過去5年間の同種業務経歴（実績）、現在（R7年度）担当している業務を記載してください。
- ・業務の受注が証明できる資料（契約書の写し等）を添付してください。協力会社として受注した経歴は評価の対象としません。

⑦ 担当者の経歴書及び過去5年間の同種業務経歴、現在（R7年度）担当している業務の一覧

- ・担当者の経歴書及び過去5年間の同種業務経歴（実績）、現在（R7年度）担当している業務を記載してください。
- ・業務の受注が証明できる資料（契約書の写し等）を添付してください。協力会社として受注した経歴は評価の対象としません。

(2) 見積提案書

- ・宛先（津島市長）、業務名（デジタルハザードマップ公開サービス業務委託）及び提出年月日を明示し、提案者の住所、名称及び代表者氏名を記載してください。
- ・令和7年度、令和8年度の年度ごとの見積金額（消費税及び地方消費税の額を含む。）を表記してください。
- ・各年度の提案業務項目ごとの積算内訳（消費税及び地方消費税の額を除く。）が分かるものを添付してください。
- ・文字は、明確に記載し、訂正・抹消した箇所に押印してください。ただし、金額を訂正したものは、無効とします。
- ・見積提案書は、封筒に封入し、封筒表面に件名を、封筒裏面に住所、名称及び代表者名を記載し、封筒継ぎ目には、押印してください。

(3) 社会的取組を証明する書類

- ・環境マネジメントシステムの導入、障がい者法定雇用率の達成、女性の活躍促進、ワーク・ライフ・バランスの推進等の取組を対象とします。
- ・社会的取組の実績について、件名、件数等を記載した社会的取組一覧表を作成し、社会的取組を証する書類を添付してください。